

2016年度事業報告について

- 1. 法人総括報告
- 2. 公益事業報告
 - ①公益事業1 コミュニケーション支援事業
 - ②公益事業2 香川県聴覚障害者福祉センターの管理運営事業
 - ③公益事業3 聴覚障害や聴覚障害者及び手話の普及啓発事業
 - ④公益事業4 聴覚障害児・者生活支援事業
 - ⑤公益事業5 聴覚障害者社会参加促進事業
- 3. 法人事業報告
- 4. 各部総括報告
 - ①事務局
 - ②組織委員会
 - ・組織委員会
 - ・高齢部
 - ・女性部
 - ・青年部
 - ③情報・コミュニケーション委員会
 - ④教育・文化委員会
 - ⑤スポーツ委員会

2016年度 公益社団法人香川県聴覚障害者協会総括報告

2016年は、テロの多発やイギリスのEU（欧州連合）離脱、「米国第一主義」を掲げるアメリカのトランプ大統領、核・ミサイル実験を繰り返す北朝鮮など社会情勢が今までになく不安定で緊迫した状況や熊本地震など自然災害も多発しております。このような社会の状況において、聴覚障害者への情報伝達はまだまだ十分とは言えないのです。

2016年4月1日に施行された障害者差別解消法・改正障害者雇用促進法によって「合理的配慮」をしないことは差別になるとされ少しずつ「合理的配慮」の理解が広がる社会環境の整備が図られていることは喜ばしいことです。

香川県内でも「合理的配慮」による手話通訳者を配置するケースが徐々に増えていますが、まだまだ民間事業者への理解が進んでいない現状があります。職場での朝礼や指示の内容が分からず筆談など配慮を求めてもしてくれないなど「聞こえないこと」や「手話」についてももっともっと社会に啓発していくことが私たちに求められています。

熊本地震では、香川県から手話通訳者として香川県聴覚障害者福祉センター施設長を熊本市に6日間派遣して熊本県聴覚障害者情報提供センターに開設された福祉避難所で支援活動をしました。香川でも同様な大規模自然災害が起こった際にどう対応したら良いのかを考えさせられました。毎年関係4団体で実施している聴覚障害者防災訓練でも防災にかんする知識を一人でも多くの人に理解してもらえるように取り組みNHK歳末たすけあい寄付金助成事業で聴覚障害者のための防災ハンドブックを印刷して会員や関係団体等に配付することができました。

全国的には、2017年3月現在で97自治体（13県75市9町）が手話言語条例を制定しており、今後も制定する自治体は増える見込みです。香川県内では、残念ながらまだ手話言語条例を制定した自治体はありません。一日も早く香川県内でも手話言語条例を制定してもらえるようにこれから取り組んで行く必要があります。

当協会の会員構成を見てみると年々高齢会員が増加して60歳以上の会員比率は61%、30歳以下10%となり組織運営が厳しさを増しています。高齢会員増加に伴う組織運営のあり方を検討して行かなければならない時期になっています。

①手話通訳事業拡充のための取り組み

(1) 香川県下意思疎通支援事業の取り組みについては、香川県及び各市町に意思疎通支援事業の拡充に関して提案を行いました。少しずつですが改善拡充の方向で進んでいますが、全ての市町が国が示しているモデル要綱に改正しておらず派遣できないケースも起こりましたが、直ぐに対処して派遣に支障はありませんでした。

しかし、2016年度は2015年度に比べて大幅に派遣数が減少していることも今後の派遣事業を運営する上でその対策を検討しなければなりません。

(2) 安心して手話通訳の派遣が受けられるように登録手話通訳者現任研修を高松（夜間）と中・西讃（土曜日昼間）で年12回開催するなど情報提供や技術指導などを実施しました。

登録手話通訳者は最低年3回以上この現任研修を受講しなければ翌年派遣することができないことになっています。

②組織と活動強化のための取り組み

2016年度の会員数は、199名と昨年度より11名減となり過去最低の会員数になりました。また、正会員数の49%が高齢会員（97名）となっていることから会員の高齢化と今後の運動を支える後継者不足が深刻な問題になっています。

また、高齢部・女性部・青年部活動を支援するために組織委員会において様々な協議を行い各部活動の支援を行いました。

日本聴力障害新聞や季刊みみの購読者拡大は、全国的な聴覚障害者福祉の動向等の情報を得て地域での活動に活かすために必要ですが、2016年度は日聴紙78名、季刊みみ28名と減少しており、多くの人に購読してもらう取り組みが必要となっています。

③香川県聴覚障害者福祉センター運営のための取り組み

2016年度から引き続き5年間指定管理者としてセンターの管理運営を行っております。センター管理については、設備機器の老朽化により故障修繕が増加していますが、利用者の安全確保の視点から適切に維持管理をするために適宜対応しています。また、冷暖房についても経費節約等の徹底を図りコストの削減に努めました。

センター運営全般については、季節毎に受付の飾り付けを変えたり理事会並びにセンター運営協議会において、ご意見を伺い利用しやすい開かれたセンター運営に努めました。

④高齢者対策のための取り組み

組織委員会として高齢部行事開催や運営について支援をしました。今後も引き続き高齢会員のご意見を伺いながら取り組みます。

⑤情報手段拡充のための取り組み

瀬戸内国際芸術祭実行委員会に対して手話のできるサポーター養成や作品説明に手話や字幕をスマホやタブレットで見られるような配慮をして欲しい旨の要望書を提出しました。

⑥手話のできる県民を増やすための取り組み

香川県からの委託事業である手話通訳者養成事業を開催して手話で会話のできる人材や手話通訳者になる人材の養成を図りました。

2手話奉仕員養成講座を県下8市9町合同事業として2016年度は新たに小豆島会場もスタートして香川県下6会場で実施しました。

各種専門学校や団体等からの依頼に応じて講師を派遣し手話や聴覚障害についての普及と啓発活動に取り組みました。

全国手話検定試験を2016年度も5級～1級まで全級実施しましたが、5級の専門学生を除けばまだまだ受験者が少ないので普及啓発の取り組みが必要です。また、受験者の多い専門学校については、団体受験として別日程で開催しました。

2016年度の全国手話通訳者統一試験では、2名が合格し手話通訳者として登録を行いました。

⑦関係団体と連携した取り組み

香川障害フォーラムに加盟し障害者の差別禁止条例制定に向けての取り組みや障害者総合支援法における要望など香川県内の障害者団体と共に運動を進めました。

香川県身体障害者団体連合会に加盟し他の障害者団体と共に運動を進めました。

関係団体（香川県中途失聴難聴者協会・全国手話通訳問題研究会香川支部・香川県要約筆記サークルゆうあい）と連携して聴覚障害者災害時支援対策準備委員会を開催し防災訓練を実施しました。

公益事業1 コミュニケーション支援事業報告

【事業総括】

聴覚障害者が日常生活において必要なコミュニケーション支援事業を実施している香川県下各市町及び各種団体等からの依頼を受け、手話通訳者等をコーディネートして手話通訳者を以下のとおり派遣した。

【事業概要】

①市町コミュニケーション支援事業

手話通訳者の派遣については、香川県下全市町と派遣契約を締結して聴覚障害者等の要請に基づき適切な派遣・調整を行った。

また、手話通訳設置事業については、観音寺市・三豊市・善通寺市・丸亀市・坂出市・さぬき市・東かがわ市との契約を締結して職員を出向させ各市役所内等での通訳や相談等必要な支援を行った。

	手話通訳設置事業		手話通訳者派遣事業	
	設置日数	相談同行件数	派遣件数	派遣者数
香川県			31件	55名
高松市			924件	957名
観音寺市	48日	107件	126件	131名
三豊市	50日	195件	76件	76名
善通寺市	102日	313件	21件	22名
丸亀市	243日	788件	136件	137名
坂出市	146日	327件	54件	54名
さぬき市	46日	146件	34件	34名
東かがわ市	48日	159件	21件	25名
小豆島町			2件	3名
土庄町			0件	0名
三木町			27件	27件
直島町			0件	0件
綾川町			23件	24名
宇多津町			35件	35名
まんのう町			9件	9名
琴平町			10件	10名
多度津町			3件	3名
計	683日	2,035件	1,532件	1,602名

※土庄町、直島町は派遣実績がありませんでした。

②手話通訳者等派遣事業

各市町コミュニケーション支援事業に該当しない各種団体・企業等からの依頼に基づき、手話通訳者等の派遣・調整を行った。

・聴障センター派遣事業 延べ 221件 357名

設置事業を除く派遣件数及び派遣人員 1,753件 1,959名

公益事業2 香川県聴覚障害者福祉センターの報告

【事業総括】

聴覚障害者への情報提供・相談支援、研修室及び情報機器の貸出、文化・学習・レクレーション支援等を行うための聴覚障害者情報提供施設とそれに付随する事業を香川県より受託されている指定管理者として以下のとおり実施した。

【事業概要】

①香川県聴覚障害者福祉センター管理運営事業

建物の維持管理を適切に行うために専門業者等による定期検査などを行い、必要に応じて修繕等を行い適切な管理運営を実施した。

②手話通訳者養成事業

・通訳Ⅰ（土曜日・高松）	36回	受講者（7名）	受講者延べ	228名
※受講者選考試験	申込者数	12名（選考にて7名）		
・通訳Ⅱ（土曜日・高松）	34回	受講者（5名）	受講者延べ	109名
・通訳Ⅲ（土曜日・高松）	9回	受講者（4名）	受講者延べ	35名

合計 79回 受講者（16名）受講者延べ 372名

※手話通訳者全国統一試験受験者数 10名 合格者数 2名

③手話奉仕員養成事業

・入門編（土曜日・高松）	22回	受講者（40名）	受講者延べ	607名
・入門編（土曜日・東讃）	22回	受講者（19名）	受講者延べ	328名
・入門編（土曜日・小豆島）	22回	受講者（8名）	受講者延べ	158名
・基礎編（水曜日・高松）	25回	受講者（21名）	受講者延べ	507名
・基礎編（土曜日・中讃）	25回	受講者（12名）	受講者延べ	218名
・基礎編（木曜日・西讃）	25回	受講者（8名）	受講者延べ	172名

合計 141回 受講者（108名）受講者延べ 1,990名

④字幕入りビデオ製作事業

手話通訳者養成講座を目指す方を対象にした選考試験やCS聴覚障害者専用放送へ番組提供したDVDを制作した。

・2016年度手話通訳者養成講座選考試験	29分	4本
・CS聴覚障害者専用放送2015年度出品番組	20分	2本
・CS聴覚障害者専用放送2016年度出品番組	20分	2本

・CS放送への番組提供

CS聴覚障害者専用放送からの依頼により、今年度は地域の情報や食に関する作品を制作してCS放送に提供するなどの情報の発信を行った。

・それいけ！くいしんぼ	10分	1本
・つつうらうら	10分	1本

合計 制作件数 5件 10本

⑤字幕入りビデオ貸出事業

デジタル放送の普及に伴い聴覚障害者もリアルタイムに字幕付きテレビ放送を見ることが出来るようになり利用者数は減少傾向にあります。手話学習者がセンターで製作しているビデオを自宅学習などに利用するなどの貸出が増えている傾向があり、ビデオの貸出についてはまだ需要もあります。

貸出総回数

実 施 機 関	貸出回数	貸出本数
香川県聴覚障害者福祉センター	138	364

内訳

利用者	貸出回数	貸出本数
聴覚障害者	13	33
健聴者	125	331

字幕入りビデオテープ保有本数

実 施 機 関	本 数
香川県聴覚障害者福祉センター	5, 793

⑥IT活用支援事業

前年度同様、e-とぴあ・かがわ（情報通信交流館）にて、機材だけでなく講師もお願いし、聴覚障害者を対象としたIT講習会を開催した。講師だけでなく3・4名のアシスタントが、受講生の近くにおいてフォローしてくれるので、スムーズに講座をすすめることができた。

・タブレット講習

内容は、タブレットの基本操作、生活や趣味に役立つアプリや便利な機能を学ぶ。
開催日は、7月3日（日）13時から16時 受講者3名 サポーター3名

・デジカメ写真活用講習

内容は、デジカメ写真のパソコンへの保存や整理方法を習得し、「Windowsフォトギャラリー2012」を使って写真（画像）の修整方法を学ぶ。
開催日は、11月6日（日）10時から16時 受講者3名 サポーター3名

・パソコンボランティア派遣事業

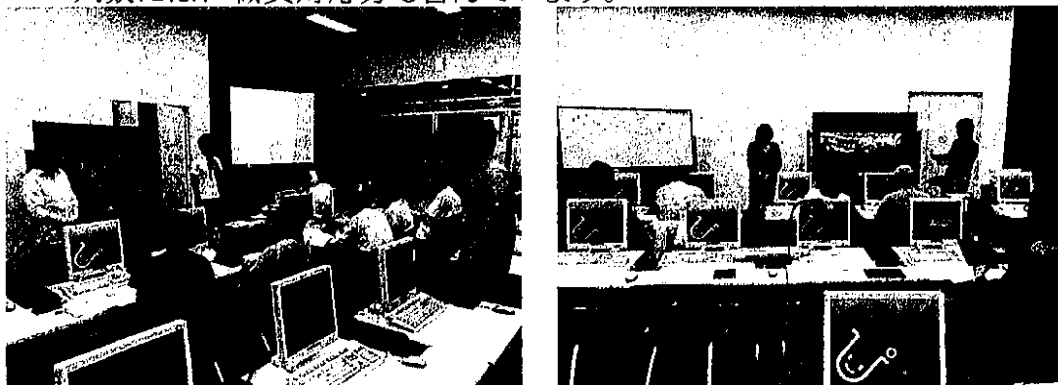
高齢聴覚障害者等で聴障センターに来所するのが困難な方や、自宅のパソコンのインターネット接続設定等で必要な指導及び支援のために、パソコンボランティアを派遣した。

聴障センターにて個別指導 9名
居宅派遣回数 0回 対象者 0名 派遣者 0名

計 延べ受講者数 15名 サポーター等延べ 15名

※聴障センターでの個別指導や居宅派遣は主に職員が対応し、上記サポーター等延べ

人数には、職員対応分も含んでいます。



⑦情報機器の貸出等コミュニケーション支援事業

聴覚障害者のコミュニケーションを支援するための各種情報機器の貸出を行った。

貸出情報機器

・携帯用磁気ループ	2台	3回	・ビデオデッキ	1台	0回
・OHP	2台	0回	・聴障体験グッズ	20台	6回
・スクリーン	3台	3回	・OHC	1台	0回
・デジタルビデオカメラ	1台	7回	・パソコン	1台	75回
・プロジェクター	5台	107回	・携帯筆談器「かきポンくん」	5台	0回
・双方向呼出器「合図くん05」	1台	0回	・その他		41回

貸出回数 延べ 242回

⑧聴覚障害者の文化、学習、レクリエーション活動等の援助及び推進事業

聴覚障害者団体等が行う文化活動等に対し、その会場を提供するなどその援助及び推進に努めた。

研修室利用状況 347回 6, 579名

【 会議 】

開催日	会議名及び主な協議事項	開催場所	参加人数
8月16日（火）	業務連絡会議 ・設置業務状況 ・事例検討	聴障センター	8名
12月20日（火）	業務連絡会議 ・設置業務状況 ・事例検討	聴障センター	8名
3月4日（土）	センター運営協議会 ・2016年度事業状況 ・利用者アンケート結果など	聴障センター	10名
3月14日（火）	業務連絡会議 ・設置業務状況 ・障害者差別解消法支援事業について	聴障センター	9名

公益事業3 聴覚障害や聴覚障害者及び手話の普及啓発事業

【事業総括】

聴覚障害や聴覚障害者、手話等に関して健聴者に正しく理解してもらうために以下のとおり普及啓発を行い、聴覚障害者が社会参加しやすい環境整備に努めました。

【事業概要】

①啓発事業

事務局担当事業

- ・毎月1回新聞の編集・発行
毎月定期的に300部発行している。聴障者に読みやすい紙面作りを心がけて、写真やイラストを多くした紙面となっている。
- ・新春交歓会（2017年1月8日）
今回初めて会場を聴障センターに変更しての開催でしたが、正会員・賛助会員・一般からの出席者36名が参加しました。様々な余興やおしゃべりに楽しい一時を過ごすことができました。
- ・第37回手話まつりの開催（2017年3月19日）
香川県教育会館ミューズホールにて高松聴覚障害者協会の主管で開催しました。デフパフォーマー満屋手話本舗ぷ〜&み〜企画のパフォーマンスで会場は笑い声と笑顔でいっぱいになりました。
- ・全国手話検定試験受験者のための学習セミナー（5・4・3・2・準1・1級）
（詳細別紙委員会報告のとおり）
- ・全国手話検定試験（5・4・3・2・準1・1級）
（詳細別紙委員会報告のとおり）

情報コミュニケーション委員会担当事業

行事名	開催場所	参加人数	参加人数
4月24日(日)	手話奉仕員養成講座講師研修会	聴障センター	16名
6月3日(金)	手話通訳者現任研修①夜	聴障センター	43名
6月18日(土)	手話通訳者現任研修①昼	西讃ふくろうセンター	12名
7月1日(金)	手話通訳者現任研修②夜	聴障センター	20名
7月1日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう①	聴障センター	16名
7月16日(土)	手話通訳者現任研修②昼	西讃ふくろうセンター	11名
8月5日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう②	聴障センター	9名
9月2日(金)	手話通訳者現任研修③夜	聴障センター	27名
9月2日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう③	聴障センター	11名
9月7日(水)	手話福祉教育講師登録のための研修会	聴障センター	17名
9月9日(金)	統一試験に向けての学習会①	聴障センター	8名
9月16日(金)	統一試験に向けての学習会②	聴障センター	10名
9月17日(土)	手話通訳者現任研修③昼	西讃ふくろうセンター	8名
9月23日(金)	統一試験に向けての学習会③	聴障センター	10名
9月30日(金)	統一試験に向けての学習会④	聴障センター	10名
10月7日(金)	手話通訳者現任研修④夜	聴障センター	9名
10月7日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう④	聴障センター	7名
10月14日(金)	統一試験に向けての学習会⑤	聴障センター	8名
10月21日(金)	統一試験に向けての学習会⑥	聴障センター	7名
10月28日(金)	統一試験に向けての学習会⑦	聴障センター	6名

10月29日(土)	手話通訳者現任研修④昼	ひまわりセンター	7名
11月4日(金)	手話通訳者現任研修⑤夜	聴障センター	19名
11月11日(金)	統一試験に向けての学習会⑧	聴障センター	7名
11月18日(金)	統一試験に向けての学習会⑨	聴障センター	8名
11月19日(土)	手話通訳者現任研修⑤昼	西讃ふくろうセンター	9名
11月25日(金)	統一試験に向けての学習会⑩	聴障センター	8名
1月6日(金)	手話通訳者現任研修⑥夜	聴障センター	7名
1月21日(土)	手話通訳者現任研修⑥昼	ひまわりセンター	9名

②聴覚障害者や手話に関する刊行物、資料等の紹介（担当：事務局）

「聴障かがわ」によるPRや2階ライブラリー室にて常時展示を行い必要な方に適宜紹介等の斡旋を行った。

③手話講習会等指導事業（担当：事務局）

大学や専門学校、各種団体等からの要請に応じて以下のとおり講師の派遣を行った。

- ・大学専門学校等 88回
- ・企業・団体等 3回

計 91回

公益事業 4 聴覚障害児・者生活支援事業

【事業総括】

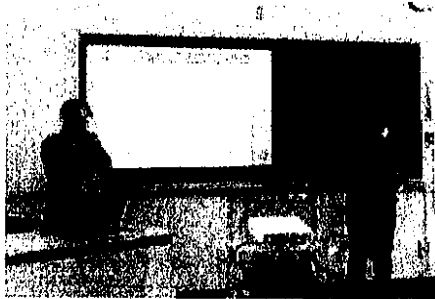
聴覚障害児が聾学校卒業後に自立した社会生活を営めるように心配事などを解消するため香川県立聾学校と連携して情報提供などを行った。また、聴障センターで毎月1回高齢聴覚障害者を対象として日常生活情報や学習機会の提供及び交流等を実施した。

【事業概要】

①聴覚障害児・者相談事業

・手話サロン（担当：教育・文化委員会）

開催日	行事名	開催場所	参加人数
6月18日（土）	手話サロン 講話「私たちの想い描く夢を叶えるために」 ゲーム交流（青年部協力）	香川県立聾学校	約20名



・相談窓口の設置（担当：センター）
聴覚障害者及びその家族からの相談に応じ、聴覚障害者の自立と社会参加の意欲を向上させるよう援助指導を行った。

相談内容の主な項目は、右記のとおりです。

聴障者の文章読み書き、電話通訳、社会参加についてのコミュニケーション支援、生活、情報支援などの相談が多く寄せられた。

相談内容	相談・助言	情報提供	その他	合計
読書・書き	24	11	1	36
電話通訳	2	0	2	4
生活・健康	1	0	1	2
福祉・権利	0	0	0	0
福祉・生活	2	0	0	2
職・就業	5	0	0	5
生活・住居	12	2	0	14
福祉・教育	0	0	0	0
自・動・車	0	0	0	0
社会活動	52	6	1	59
文化・芸術	1	0	0	1
人間関係	12	0	1	13
その他	4	0	0	4
合 計	123	21	10	154

計 相談件数 206件

②高齢聴覚障害者生活支援事業

・若葉の会（担当：センター）

毎月1回聴障センターで高齢者の生きがい事業として実施している。

開催日	行事名	参加人数	スタッフ人数
4月27日	折り紙で鯉のぼり	13名	14名
5月25日	ミニ運動会	14名	15名
6月22日	きれいな箱を作ろう	16名	12名
7月27日	料理教室	11名	9名
8月17日	太鼓観賞、テルテルはたき作り	13名	12名
9月28日	敬老を祝う会	18名	13名
10月26日	ミニ運動会	19名	10名
11月30日	講演会「骨粗しょう症について」	14名	14名

12月14日	クリスマス会、マジックショー	14名	14名
1月25日	ニワトリの親子作り、昭和の遊び	16名	10名
2月22日	遠足（中野うどん学校高松校）	9名	10名
3月23日	ミニ運動会	12名	14名
計		参加者 169名	スタッフ 147名



情報提供セミナー（担当：センター）

センターの動きなどの情報を掲載した「センターだより」を年4回発行して関係者や関係団体等に配布した。また、聴覚障害者への情報提供事業としてセンター主催で情報提供セミナーを下記のとおり開催した。

第1回 7月17日「熊本地震での支援活動」

参加者 72名



第2回 1月15日「こころの健康づくり～メンタルヘルス～」

参加者 29名



・秋のつどい（担当：高齢部）

バスで高知県東部方面に行きました。組織委員会（高齢・女性部&青年部）スタッフと会員が観光や食事を一緒にすることにより交流を深めることができました。

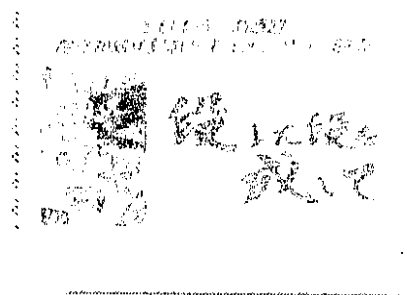
開催日	行事名	参加人数	開催場所
11月5～6日（日）	秋のつどい	23名	高知県東部



・デフ・いきいきつどい（担当：高齢部）

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画を上映しました。連盟や県協会の歴史をクイズ形式で出題し、楽しみながら歴史を振り返りました。

開催日	行事名
2月5日（日）	デフ・いきいきつどい
参加人数	開催場所
41名	聴障センター



・聴覚障害者災害対策訓練（担当：災害時支援対策準備委員会）

香川大学危機管理先端教育研究教育センターの松尾特命教授を招いて「誰にでもできるローテク防災術」を学びました。災害のメカニズムを理解して自分の命を守る様々な方法を学ぶことができました。また、避難所等で役に立つラクゼーション講習も実施して心の癒やしを体験することができました。

開催日	行事名	参加人数	開催場所
2月26日（日）	聴覚障害者防災訓練	43名	聴障センター



公益事業5 聴覚障害者社会参加促進事業

【事業総括】

社会の中でコミュニケーションが困難なことから孤立したり、情報格差が生じるなどの障壁があり、聴覚障害者と健聴者が共に参加できる学習会・スポーツ交流会などを実施して聴覚障害者と健聴者の相互の交流を深め、聴覚障害に関わる情報共有・交換の場を提供した。

また、講演会等の開催や全国大会等への参加等により聴覚障害者の文化教養を高める等により社会参加の促進を図った。

【事業概要】

①聴覚障害者研修事業

開催日	行事名	参加人数	開催場所	担当部局
4月17日(日)	高齢部会・女性部会・青年部会	30名	聴障センター	組織委
6月10～12日	第64回全国ろうあ者大会	63名	徳島県	事務局
7月17～18日	第27回四国ろうあ高齢者大会	13名	愛媛県	高齢部
7月3日(日)	四国ろう者のつどい2016	21名	愛媛県	事務局
7月14～15日	全国ろうあ者相談員研修会	1名	京都府	事務局
8月7日(日)	法人・香通研合同勉強会	35名	聴障センター	組織部
7月16～18日	第35回全国ろうあ青年部活動者会議	2名	埼玉県	青年部
8月20～21日	第49回全国手話通訳問題研究集会	1名	神奈川県	情コミ委
9月24～25日	第28回全国ろうあ高齢者大会	8名	新潟県	高齢部
10月22日(土)	四国ろうあ青年フットサル交流会	12名	香南町体育館	青年部
11月3日(火)	第4回香川県障害者ゴルフ交流大会	8名	かがわ総合リハビリセンター	高齢部
11月27日(日)	四国手話学習会 手話でGo!2016	13名	徳島県	事務局
11月19～20日	第50回全国ろうあ青年研究討論会	2名	大分県	青年部
12月4日(日)	ろうあ者のための国語	16名	聴障センター	情コミ委
12月11～12日	四国ろうあ連盟高齢部研修会	22名	ホテルセカンドステージ	高齢部
11月25～26日	第9回全国ろうあ高齢部代表研修会	3名	滋賀県	高齢部
2月25～26日	第7回西日本エリア幹部研修会	2名	鳥取県	青年部

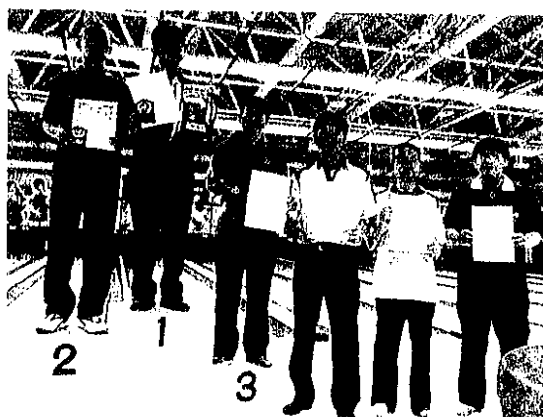
②情報提供事業

開催日	行事名	参加人数	開催場所	担当部局
4月17日(日)	春の茶話会	30名	聴障センター	組織委
7月31日(日)	ヤングフェスティバル(ミニ運動会・将棋)	32名	聾学校・聴障センター	青年部



③聴覚障害者スポーツ大会参加支援

開催日	行事名	参加人数	開催場所	担当部局
5月14～15日	第8回中国・四国地区 ろうあ者体育大会 ボウリング ソフトボール ゲートボール	役員1名 応援1名 5名 12名 12名	愛媛県	スポーツ 委員会
7月18日(月)	第27回四国ろうあ高齢者 ゲートボール大会 第10回四国ろうあ高齢者 グラウンド・ゴルフ交流会	6名 6名 応援1名	愛媛県	高齢部
9月17～18日	第50回全国ろうあ者体育大会 ボウリング ソフトボール	3名 12名	福島県 宮城県	スポーツ 委員会



手話通訳者養成講座運営委員会

【 総 括 】

体験学習では、受講者に手話サークルおよび聴障協会行事への参加を義務付け、手話サークルへの入会や地域の聴障協会行事への参加が増えていることは今後に繋がる。

【 事業報告 】

開催日	行 事 名	開催場所	参加人数
4月 2日(土)	手話通訳者養成講座受講者選考試験	聴障センター	12名

【 会議実施報告 】

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
4月 2日(土)	講師日程調整等	聴障センター	9名
1月12日(木)	2016年度養成講座・2017年度養成講座	聴障センター	8名
3月 4日(土)	2017養成講座・選考試験・現任研修会	聴障センター	8名

【 特記事項 】

奉仕員養成講座や手話サークルなどで呼びかけを行ったが、通訳者養成講座の受講者数が増えていない。受講者の高齢化にもなっており、若年層の受講者を増やす取り組みをしなければならないと感じている。

手話通訳者全国統一試験委員会

【 総 括 】

- ・ 県内受験者10名…合格者2名
- ・ 全国受験者1,713名…合格者247名（合格率14.42%）
- ・ 筆記試験…全国平均75点（100点満点 合格ライン70点以上）
- ・ 実技試験…要約+場面=合格ライン140点以上
 - 要約試験…全国平均49点（100点満点）
 - 場面試験…全国平均61点（100点満点）

【 事業報告 】

開催日	行 事 名	開催場所	参加人数
12月 3日(土)	手話通訳者全国統一試験	聴障センター	10名
3月11日(土)	手話通訳者全国統一試験合格発表	聴障センター	合格者2名

【 委員会実施報告 】

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
11月 7日(土)	試験当日の役割確認等	聴障センター	5名
12月25日(日)	統一試験採点&評価	聴障センター	5名

【 特記事項 】

年々、受験者の年齢層も上がっている。通訳者養成講座の受講生の年齢層や受講者数も受験者数に影響される。今後も、受験呼びかけの取り組みが必要である。

手話検定試験委員会

【 総 括 】

5級～1級までの全ての級で学習セミナー及び試験を開催しました。10月の本試験は、5～2級を四国医療福祉専門学校、準1～1級は聴障センター、2月の団体試験（5級）は、穴吹医療大学校にて実施しました。

[受験者のための学習セミナー]

- ・受験者（面接委員）
- 5 級… 6 名（2名）
- 4 級… 4 名（2名）
- 3 級… 1 1 名（4名）
- 2 級… 5 名（2名）
- 準1級… 4 名（2名）
- 1 級… 2 名（2名）

[第11回全国手話検定試験]

- ・受験者（面接委員）
- 5 級… 4 4 名（4名）
- 4 級… 1 0 名（1名）
- 3 級… 1 4 名（4名）
- 2 級… 9 名（2名）
- 準1級… 2 6 名（2名）
- 1 級… 8 名（2名）

[団体受験]

- 5 級… 6 0 名（5名）

【 事業報告 】

開催日	行事名	開催場所	参加人数
8月28日（日）	受講者のための学習セミナー（5～2級）	四国医療福祉専門学校	40名
9月11日（日）	受験者のための学習セミナー（準1～1級）	四国医療福祉専門学校	16名
10月15日（土）	第11回全国手話検定試験（5・4級）	四国医療福祉専門学校	64名
10月16日（日）	第10回全国手話検定試験（3・2級）	四国医療福祉専門学校	34名
10月22日（土）	第10回全国手話検定試験（準1・2級）	聴障センター	48名
2月14日（日）	第10回全国手話検定試験（団体受験5級）	穴吹医療大学校	70名

【 会議実施報告 】

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
6月10日（金）	第11回全国手話検定試験説明会	徳島県	1名

【 特記事項 】

学習セミナーの参加者は昨年比3名減っていますが、試験の受験者が15名増えています。県民の方にどんどん試験を受けてほしいので手話をPRしていきます。

面接委員の更新は対象者全員無事にクリアしました。また、新たに研修を受けた面接委員も増えてきました。全国的にも試験を受ける人は毎年増え続けて2016年度で9,687名の申込みがあり、1万人に近づいてきています。香川でも引き続き手話普及に努めていきます。

手話フォーラム委員会

【 総 括 】

全国各地で（一財）全日本ろうあ連盟の「段また段を成して」映画上映会が開かれている中で、その運動の一角を担った高田英一氏（日本手話研究所所長）にお越しいただき、「手話とろう運動の歴史」のテーマ



で講演していただきました。ろう運動に携わる者として、手話という原点を見つめなおしたフォーラムでした。

【 事業報告 】

開催日	行 事 名	開催場所	参加人数
2月19日(日)	第24回香川手話フォーラム	高松市総合福祉会館	70名

【 会議実施報告 】

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
10月5日(水)	分科会内容確認	聴障センター	5名
11月2日(水)	講演・分科会・予算確認	聴障センター	7名
1月18日(水)	講演・分科会・予算確認	聴障センター	8名
2月9日(水)	全体の確認・分科会の打ち合わせ	聴障センター	10名

【 特記事項 】

第1分科会は日本地図を見ながら手話で都道府県のクイズやりとり。第2分科会は両手の形が同じ手話を探す。第3分科会は「いろはかるた」や百人一首をろう者の生活または手話表現してみよう。それぞれの分科会でいろいろな手話が体験できたと思います。



災害時支援対策準備委員会

【 総 括 】

公益社団法人香川県聴覚障害者協会・香川県中途失聴・難聴者協会・香川県手話通訳問題研究会・香川県要約筆記サークルゆうあいの4団体で構成する「聴覚障害者災害時支援対策準備委員会を開催して「聴覚障害者防災訓練」を開催することができました。



また、委員会で作成した聴覚障害者のための防災ハンドブックと災害時に誰にでもできる聴覚障害者への配慮」をNHK歳末たすけあい寄付金助成事業で製本印刷して関係団体や会員に配布を行うことができました。



【 事業報告 】

開催日	行事名	開催場所	参加人数
2月28日(日)	聴覚障害者防災訓練	聴障センター	43名

【 部会議実施報告 】

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
9月24日(土)	今年度の防災訓練について 防災に関する今後の取り組み	聴障センター	7名
12月4日(日)	防災訓練の準備について	聴障センター	7名

【 特記事項 】

今年度も関係4団体で聴覚障害者防災訓練を行いました。午前中は、香川大学危機管理先端教育センター松尾教授を招いて「ローテク防災術」の学習をしました。

午後からは、日本赤十字社香川県支部より講師を招いて避難所で役立つ「リラクゼーション講習」を実施して心も身体もリフレッシュすることが災害時には必要なので良い体験学習になりました。



事務局

【 総 括 】

2013年度より県下全市町合同事業として実施している手話奉仕員養成講座の開催会場に小豆島会場を増やし県下6会場で入門・基礎課程を実施しました。手話奉仕員養成事業経費には、講師養成に係る旅費など経費も公費負担となっておりますが、県外で開かれる講師養成のための連続講座受講者の確保が大きな課題です。

【事業報告】

①会員管理及び会員現勢

会員の個人情報が増やさないように厳正に会員管理を行いました。また、各種事業における個人情報の管理にも注意を払い管理の徹底を図りました。

2016年度の会員数は、正会員199名と11名減少しました。会員の高齢化も年々増しており、組織運営が一段と難しくなっています。

②運動

手話言語条例制定に向けて委員会で素案作りと学習会資料作りに取り組みました。

また、香川障害フォーラム定例会議に参加し関係団体と連携して障害者差別禁止条例制定に向け常務理事を定例会に派遣しています。

③法人総会の開催

2016年6月19日に公益社団法人に移行して5回目（通算35回）の総会を開催しました。今回の総会では決算の承認、2015年度事業報告や2016年度事業計画・予算についても報告として会員に説明をしました。

④理事会・監査会の開催

2016年度は、以下のとおり理事会・監査会を開催しました。

（役員の出席状況は、別添のとおり）

【 理事会 】

開催日	主な協議事項	開催場所	出席人数
5月29日（日）	事業決算報告・各種規則改正 総会運営・手話まつり決算報告など	聴障センター	10名
9月4日（日）	県市町要望事項・手話言語条例取組み 会員拡大取組み・行事確認など	聴障センター	11名
12月18日（日）	来年度事業予算方針・手話言語条例・ 中四国体育大会・手話まつり表彰など	聴障センター	11名
3月5日（日）	補正予算案・事業計画案・予算案 個人情報保護規定の制定など	聴障センター	11名

【 監査会 】

開催日	監査事項	開催場所	出席人数
5月21日（日）	香川県聴覚障害者福祉センター会計処理 法人事業会計・一般会計処理監査	聴障センター	2名

⑤全日ろう連・四国ろう連等関係会議・研修会等への役職員の派遣

ろうあ運動や活動の強化を図るために必要な会議や研修会に役職員を派遣しました。

(詳細は、各事業報告に掲載)

⑥障害者関係団体との連携

香川障害フォーラム定例会議常務理事を派遣して関係団体と連携して障害者差別禁止条例制定に向けた取り組みや障害者自立支援法における問題などの改善に関する取り組みを行いました。

香川県中途失聴・難聴者協会、香川県手話通訳問題研究会、香川県要約筆記サークルゆうあいと聴覚障害者災害時支援対策準備委員会を開催して災害対策について一緒に取り組みを進めました。

公益財団法人香川県身体障害者団体連合会の理事として理事長を派遣して他の障害者団体と共に運動を進めました。

⑧香通研との合同三役会議の開催

様々な運動課題などを協議するために香通研と合同の三役会議を5月28日(土)、9月3日(土)、3月5日(日)の3回開催しました。

⑨全国手話検定試験関係について

全国手話検定試験実施に向けて必要な事項を協議するために委員会の開催や学習セミナー・検定試験の実施、また、専門学校で団体受験を別日程で実施しました。

(詳細は、全国手話検定試験委員会報告に掲載)

⑩手話通訳者全国統一試験関係について

全国手話通訳者統一試験実施に向けて必要な事項を協議するために委員会を開催し統一試験を実施しました。

(詳細は、手話通訳者全国統一試験委員会報告に掲載)

⑪新春交歓会の開催

181日(日)聴覚障害者と一般県民の交流を通じてお互いの理解が深まるように今回から会場を聴障センターに代え企画内容も工夫して楽しい会になりました。参加者も楽しく歓談したりゲームに参加して終始和やかな交歓会となりました。

⑫第37回手話まつりの開催

3月19日(日)高松聴覚障害者協会主管で香川県教育会館ミュージズホール(高松市)にて実施しました。

⑬新聞編集・発行

毎月1回定期発行して様々な情報の発信に努め、写真やイラストを増やすなど読みやすい紙面の工夫をしました。配達業者を変更して郵送代の制約をしていますが、郵便と違って発送から会員の手元に届くまでに日数がかかるなど課題もでています。

⑭手話通訳事業の実施 (詳細は、別掲報告書に掲載)

(1)県及び各市町の意味疎通支援者派遣事業(手話通訳者派遣事業・手話通訳設置事業)の委託契約を受託して、県内どこで生活していても同じサービスが受けられるよう取り組みを行いました。

(2)各種団体からの手話通訳派遣依頼に適切に応じられるよう取り組みました。

(3)各種学校や団体からの依頼に応じて講師を派遣し手話の普及や聴覚障害者に対する理解の促進を図りました。

⑮聴覚障害者関連図書を紹介

様々な行事等で聴覚障害関連書籍の普及を行いました。今後も啓発普及に工夫を凝らして取り組んでいきます。

2016年度 年齢別会員数

年齢	高松		中讃		西讃		総計		年代別割合	全体割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	青年 10%
							0			
20代	1	2	1	0	0	0	2	2	2.0%	
							4			
30代	6	2	2	3	1	2	9	7	8.0%	壮年 29%
							16			
40代	5	4	4	4	0	1	9	9	9.0%	
							18			
50代	14	8	5	5	5	3	24	16	20.1%	高年 61%
							40			
60代	17	12	8	9	7	7	32	28	30.2%	
							60			
70代	7	13	9	3	4	3	20	19	19.6%	高年 61%
							39			
80代	4	9	3	1	1	3	8	13	10.6%	
							21			
90代～	0	0	1	0	0	0	1	0	0.5%	高年 61%
							1			
総計	54	50	33	25	18	19	105	94		
		104		58		37		199		

2016年度 公益社団法人香川県聴覚障害者協会 理事会等出席状況（出席…○ 欠席…―）

理 事

	第1回	総会	臨時	第2回	第3回	第4回
	5/29	6/19	6/19	9/4	12/18	3/5
近藤龍治	○	○	○	○	○	○
小比賀一広	○	○	○	○	○	○
山本義文	○	○	○	○	○	○
岡本勝己	○	○	○	○	○	○
稲葉智子	○	○	○	○	○	○
高橋郁夫	―	―				
神内隆司			○	○	○	○
鎌野恵子	○	○	○	○	○	○
矢野裕子	○	○	○	○	○	○
太田裕之	○	○	○	○	○	○

監 事

藤澤忠浩	○	○	○	○	○	○
神内朝子	○	○	○	○	○	○

出席者数	10	10	11	11	11	11
------	----	----	----	----	----	----

組織委員会（組織部、高齢・女性部、青年部）

【 総 括（組織部） 】



8月7日（日）に法人・香通研合同学習会を開催しました。午前中は、前（一財）全日本ろうあ連盟理事（福祉・労働委員長）の松本正志氏にお越しいただき、「障害者差別解消法について～障害者権利条約に関わって～」の講演でわかりやすく説明していただきました。

午後からグループに分かれて「差別をなくすには？」など、いろいろ意見交換しながら盛り上がり、集中的に討論を深

めることができ、いい勉強になりました。

会員拡大取組運動について、昨年度より11名減少で200名を割ってしまい、残念な結果となりました。ちなみに2016年度の会員数199名の中で60歳から69歳までの間が60名（30.2%）で高齢者が増えています。20代と30代の会員数の割合が10パーセントと非常に少ないです。原因究明すると、各地域協会の連携が薄く、取り組み強化運動の力不足を痛感いたしました。

【 総 括（高齢・女性部） 】

11月5日（土）～6日（日）に「秋のつどい～高知県東部の旅」へ1泊2日の旅行に23名が参加しました。久々の顔がふれあい、元気よく楽しむことができました。一日目に①モネの庭②中岡慎太郎二日目に①最御崎寺②室戸岬灯台③室戸ドルフィンセンター④野良時計⑤岩崎弥太郎生家を回りました。



デフ・いきいきつどい（第37回高齢部福祉大会）で、午前中は「段また段を成して」ドキュメンタリー映画上映会、午後は「合理的配慮のあり方」意見交流会、「ろうあ運動」

に関するクイズを通して学習を行ないました。

【 総 括（青年部） 】

7月31日（日）に青年部と教育文化委員会との合同行事企画を開催しました。午前の青年部企画『ミニ運動会』では、ろう学校の卒業生や一般の参加者と一緒にスポーツを楽しむ、チームで協力し合って優勝を目指し、みんな笑顔で盛り上がりました。午後は教育・文化委員会企画『将棋で遊ぼう』色々な将棋の遊び方があり参加者のみなさん、集中して真剣に勝負していました。合同行事は1日ケガなく無事に参加者の皆さんと楽しむことができました。



【 事業報告 】

開催日	行事名	開催場所	参加人数
4月17日(日)	高齢・女性・青年部会 春の茶話会	聴障センター	30名
7月16日～18日	第35回全国ろうあ青年部活動者会議	埼玉県	2名
7月17日～18日	第27回四国ろうあ高齢者大会	愛媛県	13名
7月31日(日)	ヤングフェスティバル (青年部&教育・文化委員会)	聾学校 聴障センター	32名
8月7日(日)	法人・香通研合同学習会	聴障センター	35名
9月24～25日	第27回全国ろうあ高齢者大会	新潟県	8名
10月22日(土)	四国ろうあ連盟青年部フットサル交流会	香南町体育館	12名
11月3日(木祝)	第4回香川県障害者グラウンドゴルフ交流大会	リハビリセンター	8名
11月5日～6日	秋のつどい(高齢部)	高知県	23名
11月19日～20日	第50回全国ろうあ青年研究討論会	大分県	2名
11月25～26日	第9回全国ろうあ高齢部代表研修会	滋賀県	3名
12月11日～12日	四国ろうあ連盟高齢部研修会	ホテル セカンドステージ	22名
2月5日(日)	デフ・いきいきつどい(高齢部)	聴障センター	41名
2月25～26日	第7回西日本エリア幹部研修会	鳥取県	2名

【 部会議実施報告 】(組織委員会)

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
4月16日(土)	部会・茶話会の準備(女性部)	聴障センター	6名
4月30日(木)	部長・副部長会議(組織委員会)	聴障センター	5名
5月8日(日)	ヤングフェスティバル打ち合わせ(青年部)	聴障センター	3名
7月30日(土)	ヤングフェスティバル打ち合わせ(青年部)	聴障センター	5名
	会員拡大取組・法人香通研合同学習会 第1回(教育・文化委員会合同)		14名
8月20日(土)	聴障センターまつり準備(女性部)	聴障センター	6名
9月5日(月)	秋のつどい デフ・いきいきつどい打合せ (高齢・女性部)	聴障センター	6名
9月18日(日)	秋のつどい・聴障センターまつり打合せ 第2回(教育・文化委員会合同)	聴障センター	12名
11月20日(日)	四国ろうあ高齢部研修会打ち合わせ (高齢・女性部)	聴障センター	9名
12月2日(金)	デフ・いきいきつどい打合せ (高齢・女性部)	聴障センター	3名
1月8日(日)	2017年度事業計画案・2016年度事業報告 (青年部)	聴障センター	4名
1月12日(木)	デフ・いきいきつどい・2016年度事業報告 (高齢・女性部)	聴障センター	5名
1月15日(日)	2017年度事業計画案・2016年度事業報告 第3回(教育・文化委員会合同)	聴障センター	13名
2月10日(金)	2017年度事業計画案最終・茶話会打合せ (部長・副部長、教育・文化委員会合同)	聴障センター	10名

情報コミュニケーション委員会

【 総 括 】

- ・統一試験に向けての学習会は、夜のコースを10回実施しました。その学習者2名が試験に合格しました。2017年度も継続していききたいと思います。
- ・手話通訳者現任研修も昼と夜の2コースを実施しました。

【 事業報告 】

開催日	行事名	開催場所	参加人数
4月24日(日)	手話奉仕員養成講座講師研修会	聴障センター	16名
6月3日(金)	手話通訳者現任研修①夜	聴障センター	43名
6月18日(土)	手話通訳者現任研修①昼	西讃ふくろうセンター	12名
7月1日(金)	手話通訳者現任研修②夜	聴障センター	20名
7月1日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう①	聴障センター	16名
7月16日(土)	手話通訳者現任研修②昼	西讃ふくろうセンター	11名
8月5日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう②	聴障センター	9名
9月2日(金)	手話通訳者現任研修③夜	聴障センター	27名
9月2日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう③	聴障センター	11名
9月9日(金)	統一試験に向けての学習会①	聴障センター	8名
9月16日(金)	統一試験に向けての学習会②	聴障センター	10名
9月17日(土)	手話通訳者現任研修③昼	西讃ふくろうセンター	8名
9月23日(金)	統一試験に向けての学習会③	聴障センター	10名
9月30日(金)	統一試験に向けての学習会④	聴障センター	10名
10月7日(金)	手話通訳者現任研修④夜	聴障センター	9名
10月7日(金)	手話コミュニケーションを学ぼう④	聴障センター	7名
10月14日(金)	統一試験に向けての学習会⑤	聴障センター	8名
10月21日(金)	統一試験に向けての学習会⑥	聴障センター	7名
10月28日(金)	統一試験に向けての学習会⑦	聴障センター	6名
10月29日(土)	手話通訳者現任研修④昼	ひまわりセンター	7名
11月4日(金)	手話通訳者現任研修⑤夜	聴障センター	19名
11月11日(金)	統一試験に向けての学習会⑧	聴障センター	7名
11月18日(金)	統一試験に向けての学習会⑨	聴障センター	8名
11月19日(土)	手話通訳者現任研修⑤昼	西讃ふくろうセンター	9名
11月25日(金)	統一試験に向けての学習会⑩	聴障センター	8名
12月4日(日)	ろう者のための国語	聴障センター	16名
1月6日(金)	手話通訳者現任研修⑥夜	聴障センター	7名
1月21日(土)	手話通訳者現任研修⑥昼	ひまわりセンター	9名

【 部会議実施報告 】

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
4月13日(水)	奉仕員講師研修会・手話コミ学ぼう	聴障センター	5名
6月15日(水)	手話コミ学ぼう・統一学習会	聴障センター	5名
8月24日(水)	ろう者のための国語・手話フォーラム	聴障センター	5名
11月16日(水)	手話フォーラム・2017年度計画案	聴障センター	6名
2月22日(水)	2017年度計画案・奉仕員研修会	聴障センター	6名

教育・文化委員会

【 総 括 】

2016年度は香川県立聾学校の都合もあり、手話サロンを1回のみ開催しました。

青年部との合同企画ではスポーツ交流、将棋交流をしました。

手話フォーラム第3分科会は「いろはかるた」を使って、その意味を手話に置きかえたりして学習しました。



【 事業報告 】

開催日	行事名	開催場所	参加人数
6月18日(土)	手話サロン 講話「私たちの思い描く夢を 叶えるために」 ゲーム交流(青年部協力)	香川県立聾学校	約20名
7月31日(日)	ヤングフェスティバル (青年部合同) 将棋で交流	香川県立聾学校 聴障センター	32名
8月6日～7日	第28回ろう教育を考える 全国討論集会	鳥取県	1名
2月19日(日)	香川手話フォーラム 教育分科会 「いろはかるた」「百人一首」	高松市総合体育館	19名

【 部会議実施報告 】

開催日	主な協議事項	開催場所	参加人数
5月16日(月)	2015年度事業報告 手話サロン 手話フォーラム	聴障センター	3名
7月30日(土)	組織委員会合同会議	聴障センター	3名
9月18日(日)	組織委員会合同会議	聴障センター	3名
10月5日(水)	手話フォーラム委員会合同会議	聴障センター	2名
11月2日(水)	手話フォーラム委員会合同会議	聴障センター	2名
1月15日(日)	組織委員会合同会議	聴障センター	3名
1月18日(水)	手話フォーラム委員会合同会議	聴障センター	2名
2月9日(木)	手話フォーラム委員会合同会議	聴障センター	2名
2月10日(金)	組織委員会合同会議	聴障センター	3名

【 特記事項 】

昨年度から組織委員会と合同で行事や会議に取り組んでいます。組織委員会の協力もあり、青年部と聾学校生徒のつながりがスポーツや文化を通して少しずつできてきています。

その根本にあるのは、人と人のつながりです。時代が変わっても先輩から後輩に知識や活動が引き継がれていくことの大切さを改めて感じました。



スポーツ委員会

【 総 括 】

8月の健康交流会「ボウリング」では、ボウリング選手（県協会会員）の指導の下で実施しました。ろう者に指導を受けて、健聴者も手話での会話を楽しんでいました。今後もいろいろなスポーツを体験しながら社会との交流を深めていきたいと思ひます。



【 事業報告 】

開催日	行事名	開催場所	参加人数
5月14～15日	第8回中国・四国地区 ろうあ者体育大会	愛媛県	スポーツ委員長1名 ボウリング5名 ソフトボール12名 ゲートボール12名 応援1名
7月18日（月）	第27回四国ろうあ高齢 者ゲートボール大会 第10回四国ろうあ高齢 者グラウンド・ゴルフ 交流会	愛媛県	ゲートボール6名 グラウンド・ゴルフ 6名 応援1名
8月28日（日）	健康交流会 （ボウリング）	MGボウル屋島	14名
9月17～18日	第50回全国ろうあ者 体育大会	福島県 宮城県	ボウリング3名 ソフトボール12名

【部会議実施報告】

日程	場 所	内 容	参加人数
4月16日（土）	聴障センター	中四国体育大会について 2016年度事業計画	4名

【特記事項】

全国ろうあ者体育大会は、香川県としてソフトボール、ボウリングで参加できた。未だ他の競技は、なかなか人が集まりにくい状況であるので、どうしたらいいか模索し続けています。